

中等習字教科書

中

K220.72
69a
2

K220.72

69a

2

1511
48
3194

甲
年
附屬
檢定
冊
師範學校
科

弘道館編輯部編

中等習字教科書

玉木
愛石
淨書

文部省圖書
新3194
共3冊

1951. 文部省寄附

皇統連綿萬世

一系天壤無窮

政治法律經濟

軍事交通衛生

產業學問教育

宗教文學美術

少年易老學難成

一寸光陰不可輕

未覺池塘春草夢

階前梧葉已秋聲

陽氣發處金石亦透

精神一到何事不成

君子は人の美を成し人の惡
を成さず小人は是に反す

業は勤むるに精しく嬉むに
荒み行は思ふに成り隨ふに毀る

謹啓拜啟貴翰拜誦

高堂拙宅清榮健勝

慶賀欣喜省慮休神

光未推空依頼周旋

面倒迷惑希望懇願

結構頂戴恐縮萬謝

輕少失禮手數都合

遺憾殘念披露吹聽

返却通知猶豫容赦

見舞挨拶紹介案内

執事侍史視北膝下

親展貴酬教具頓首

劔利なりと雖も礪かざれば断ぜず
材美なりと雖も學ばざれば高からず

蓬麻中に生ずれを扶けざして自ら直し
白沙縮中に入れば染めずして自ら潔し

江天暮雪瀟湘夜雨
山市晴嵐煙浦歸帆

遠寺晚鐘平沙落雁
漁村夕照洞庭秋月

禮啓とある者の儀先主よりは何
と書しおぼえられぬか

また去年ふ旅坊に続いたる事
は休神とありて函館より陸境に

日中にも漸く午度候も過ぎぬ
中へ急ぐ御座候と候に當地にて

美千の着衣を準備の致し申上
時言柄折角は御座候と候に當り

何以路乃波在名不于海而處
空知如星如月法在然如日可

系之代意多心進名於法法在
祿亦如星如月字有之井乃此於

白之屋乃滿布也甚不常好
古江魯之轉亭安阿也其美支

起遊由免美兄志直南正心也
母衣衣衣也勢長以壽

武士の志はつらふことあり
教たをしる那須の志の原

いそがずばぬれざしを旅人の
あらより晴るく聖路のおる

これほくとばうり

とせ

花のまなこ

古池や蛙

とせ

飛びこむ水の音

中等習字教科書 中ノ巻

少年易老學難成。一寸光陰不可輕。未覺池塘春草夢。階前梧葉已秋聲。(朱子)
陽氣發處金石亦透。精神一到何事不成。(朱子)
君子は人の美を成し人の惡を成さず小人は是に反す(論語)
業は勤むるに精しく嬉むに荒み行は思ふに成り隨ふに毀る(釋意)
劍利なりと雖も彌かざれば斷せず材美なりと雖も學ばざれを高からず(釋外傳)
蓬麻中に生ずれを扶けせして自ら直し白沙細中に入れば染めずして自ら黒し(論衡)

江天暮雪。 瀟湘夜雨。 山市晴嵐。 煙浦歸帆。 遠寺晚鐘。 平沙落雁。 漁村夕照。
洞庭秋月。(潘湘入選)
武士の矢並つくりふこ手の上で散花をしる那須の玄の原(源實朝)
いそがすばぬれざらましを旅人のあとより晴るゝ野路の村雨(太田持麩)
これはくゝとばるり花の吉野山(安原貞憲)
古池や蛙飛びこむ水の音(松尾芭蕉)

大正西辰高秋

卷之三



江川八左衛門刻

大正五年十月十七日印刷
大正五年十月二十日發行

大正五年十二月廿五日訂正印刷
大正五年十二月廿八日訂正發行

定價各册金拾八錢

複製
不許

編纂者 弘道館編輯部
書者 玉木本三郎
發行兼印刷者 辻本卯藏

東京市神田區北神保町十一番地

發行所

東京市神田區北神保町十一番地
振替口座東京八一五番

弘道館

